

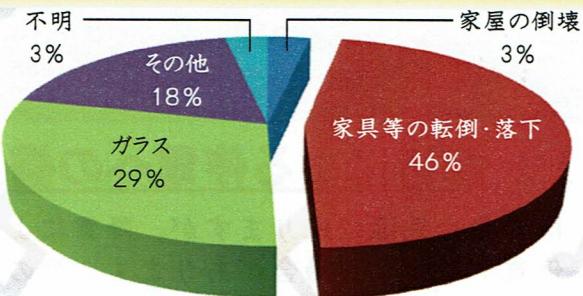
## ～家具転倒・落下等の防止とガラスの飛散防止～

### 1. 震災発生時の屋内での被害

震災発生時に屋内におけるケガの原因として、家具の転倒や落下による事案があります。

また、ケガの原因のみならず、避難する際に倒れた家具や散乱した生活用品が障害となった事例も報告されております(内閣府調査結果)。以前にマンションでは「自助」「共助」の考え方方が重要であることをご案内いたしましたが、避難が遅れてしまう、あるいはケガを負ってしまう環境では、共助活動への参加はもとより、自分の身を守る「自助」も難しくなってしまうことになります。

家具の転倒やガラスの飛散から身を守るためにも、まずはご自身の身の回りでの対策実施をお勧めいたします。



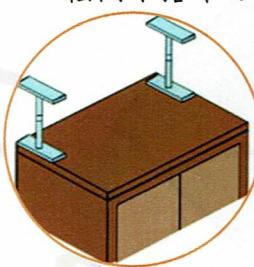
阪神・淡路大震災における住宅内負傷原因  
出典: 地震による家具の転倒を防ぐには((財)消防科学総合センター)

#### 《熊本地震では…》

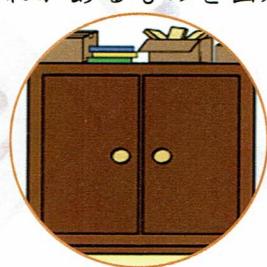
今年4月に発生した熊本地震における負傷者の3割～5割が家具等の転倒・落下が原因といわれております。発災時はご自身の身を守ることが最優先事項となります。この機会に転倒・落下対策について、ご一考ください。

### 2. 家具等の転倒・落下の防止策

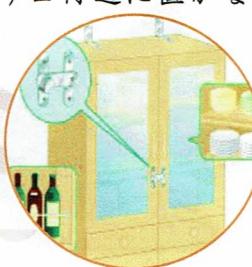
発災時に家具の転倒や落下等による負傷を防ぐための方法として、幾つかの方法があります。以下の①の様に家具を固定すること、②の様に家具の上に物を置かないこと（転倒防止目的で置いている場合を除く）、③の様に家具の中に収納されている物が飛び出さないようにすること、④の様に揺れによる移動防止等が挙げられます。また、⑤の様に避難経路確保の観点から転倒や落下の恐れがあるものを出入り口付近に置かないことなどにも留意しましょう。



①家具の固定



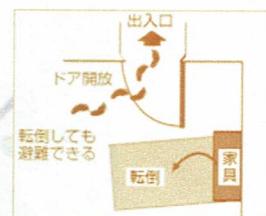
②家具の上の物品撤去



③収納物の飛出し防止



④家具の移動防止

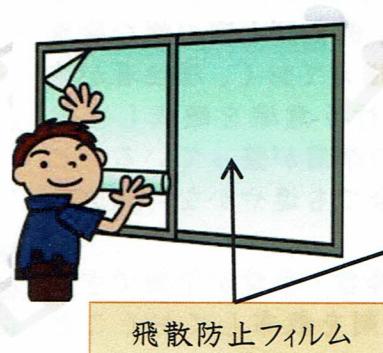


⑤出入口の確保

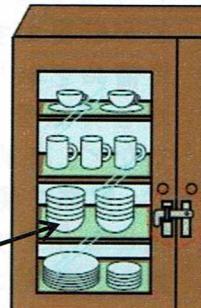
### 3. ガラスの飛散防止策

食器棚や窓ガラスなど、数多くのガラス製品に囲まれた生活をされている方は少なくないと 思います。ガラスはひとたび割れてしまうと、鋭い破片となって周囲に飛び散ります。

地震の揺れが起因して、飛散したガラス片で負傷する、避難する際に散乱したガラス片を踏みつけて怪我をしてしまうなど、想定される被害は様々ですが、避難の妨げとなってしまうことは必至です。事前に窓ガラスや食器棚などのガラス部分には飛散防止フィルムを貼付するなどの対策をお勧めいたします。



飛散防止フィルム





## ～降雪・積雪への備え～

これから気温が低下して寒い季節になり、積雪などに備えた対策なども考えていかなければなりません。

これまでにも積雪時にご注意いただきたいことをご案内してまいりましたが、改めてご留意いただきたい点や備えておくと便利なものなどをご案内いたします。

対策を立てられるうえでの参考として、ご一読ください。

### 1. 降雪による停電への備え

降雪量や気温に依りますが、降雪により停電が発生する場合があります。雪の重みで倒れた木が電線を切って停電になるケースや、電線への着雪により電線が切れて停電になるケース等、原因は様々です。また、降雪時は屋外の気温は低く、雪が深く積もっていることが想定されますので、ご自宅に右図の様な生活に最低限必要なものを取り揃えておくと、生活に与える影響を少なく抑えることにもつながります。

### 2. 積雪時の注意事項

雪が積もった後、屋根や庇等に積もった雪が解けて落下してくることがあります。地面が凍結している場合は転倒するリスクが高くなります。特にマンホールの蓋などの鉄板の上は、凍結していないなくても非常に滑りやすくなっていますので、歩行の際には十分な注意が必要です。



屋根や庇からの落雪



歩行時の転倒



車両のスリップ

### 3. 管理組合での事前準備

突発的な降雪・積雪の時に適切な対応が行えるよう事前に準備しておくことが肝要です。例えば右図の様な除雪用備品を取り揃えておく、居住者が協力して除雪を行う意識を醸成していくことで、突然の場合でも速やかな対処が可能となります。

また、事前に降雪・積雪が予測できる場合には融雪剤を散布しておくことも有効な対策となります。



簡易トイレ



ライト・灯具



閉じ込め対策

停電で灯りはもとより、お水が出なくなるケースがあります。復旧までの所要時間が図れないことから、非常灯や飲み水、災害用トイレ等が準備されていれば、復旧までの不都合を軽減することができます。

また、停電によるエレベーターへの閉じ込めに備えて、エレベーター内に防災用品が収納されたBOX等の設置もご検討ください。